2026年11月6日

各　位

会社名　　エスクリプトエナジー株式会社
（コード番号：5721　東証スタンダード）
代表者名　代表取締役社長　久永　賢剛
問合せ先　　経営管理部
（https://s-cryptoenergy.jp）

株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ

当社は、2026年11月4日付で、当社株主ら（以下「請求者」といいます。）の代理人弁護士から、会社法第297条第1項に基づき、臨時株主総会の招集を請求する書面（以下「本請求書」といいます。）を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．請求者の概要

（1）名称　当社株主ら（複数名。請求者の要請により氏名は非開示としております。）

（2）代理人　新樹法律事務所　弁護士　渡辺 治

（3）保有議決権　本請求書の記載によれば、請求者は合算して当社の総株主の議決権の100分の3以上を6か月前から引き続き保有しているとのことです。

2．請求年月日

2026年11月4日（受領日：2026年11月5日）

3．請求の内容

（1）株主総会の目的である事項

議題　取締役3名選任の件

（候補者：三崎 優太氏、能勢 元氏（社外）、河本 和真氏（社外））

（2）招集の理由

本招集書記載のとおりです（別紙をご参照ください）。

4．当社の対応方針

当社は、本招集書の内容及び請求の要件について確認のうえ、慎重に検討してまいります。当社の対応方針につきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。

5．今後の見通し

本件による当社業績への影響は現時点ではありません。今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以　上

（別紙）臨時株主総会招集請求書（写し）

※別紙は、請求者から受領した本請求書を原文のまま掲載しております（請求株主の氏名は非開示としております)。なお、記載内容は請求者の主張であり、当社がその内容を認めたものではありません。

令和8年11月4日

〒104-0061
東京都中央区銀座8-9-13 K-18 ビル8階
エスクリプトエナジー株式会社
代表取締役　久　永　賢　剛　　殿

〒105-0001
東京都港区虎ノ門五丁目1番4号
東都ビル7階
新樹法律事務所
電話　03-5402-4343
FAX　03-5402-4342
請求株主　代理人
弁護士　渡　辺　　治

臨時株主総会招集書（本文）

冠　省

別紙記載の貴社株主ら（以下「請求株主」といいます。）は、合算して貴社の総株主の議決権の100分の3以上の議決権を6か月前から引き続き有する株主であるところ、その代理人である当職は、会社法297条1項に基づき、貴社に対し、下記の事項を会議の目的（議題及び議案）とする、本書到達の日から8週間以内の日を株主総会の日とする貴社の臨時株主総会を招集することを請求します。

なお本書は、貴社に対し、内容証明郵便のほか、委任状等の必要書類（必要に応じて追完の可能性もあります。）と併せて郵便にても送付しています。

また、請求株主の個人情報ないし個人データについては、漏えいその他違法又は不正な取扱いとならないよう、その取扱いにはくれぐれも御留意ください。請求株主の氏名は、開示しないようお願いいたします（前田雅弘監修『株主提案対応の株主総会実務－その実践と理論』51頁（中央経済社、2024）参照）。

記

第1　株主総会の目的である事項

議題　取締役3名選任の件

第2　招集の理由

1　本提案の背景

提案株主らは、エスクリプトエナジー株式会社（以下「当社」という。）の持続的な企業価値向上及び株主共同の利益の確保を目的として、本議案を提案するものである。

当社は現在、中期経営計画に基づき、BTC トレジャリー事業、トレジャリーアドバイザリー事業及び系統用蓄電池事業等を成長戦略の柱として推進している。

提案株主らは、これらの事業の将来性及び成長可能性を否定するものではなく、当社の企業価値向上に寄与するものとして期待している。

一方で、第 10 回新株予約権による資金調達実績は当初計画を下回る結果となり、当社は投資計画及び事業計画の見直しが必要な状況にある旨を公表している。また、2027 年 3 月期第 1 四半期においても営業損失及び四半期純損失を計上しており、当社の成長戦略は現在も実行途上の段階にある。

さらに、当社は 2026 年 10 月 13 日第三者割当による第 11 回新株予約権の発行をしており、今後の資本政策及び事業戦略は、企業価値及び既存株主の利益に重要な影響を及ぼし得る経営判断であると考えられる。

提案株主らは、このような重要な経営判断局面においては、経営監督機能及び検証機能を一層強化し、株主の意思を適切に反映できる経営体制を構築することが重要であると考える。

2　株主との対話及び経営監督機能強化の必要性

2026 年 6 月開催の定時株主総会後、有志株主により実施されたアンケートには 1,391 名から回答が寄せられ、回答者の申告に基づく保有株式数の合計は 29,935,919 株に相当した。

当該アンケートは法定の議決権行使その他の株主権行使を目的としたものではないが、企業価値向上及び経営体制に関し、多数の株主が一定の問題意識を有していることを示すものと考えられる。

また、提案株主らは、2026 年 6 月開催の定時株主総会において、経営体制に関する株主からの問題提起に対し、臨時株主総会開催の可能性について言及がなされたものと認識している。

その後、提案株主らは同年 7 月、上記アンケート結果を取りまとめた要望書を当社代表取締役宛てに送付し到達している。

提案株主らは、会社に対して当該要望書への回答義務があると主張するものではないが、その後において株主が示した問題意識や経営体制の在り方について、株主の意思を確認するための機会が十分に設けられたとは言い難い状況にあると考えている。

提案株主らは、企業価値向上のためには株主との建設的な対話が重要であり、その観点からも経営体制に関する株主判断の機会を設けることが望ましいと考える。

3　取締役選任を求める理由

提案株主らは、当社が直面する経営課題に適切に対応し、中期経営計画の実現可能性を高めるためには、現行の経営体制に加え、新たな専門性及び知見を有する取締役を選任することが有益であると考える。

特に、

- 事業戦略の検証及び推進
- 資本政策に対する監督機能の強化
- 財務規律及び内部管理体制の充実
- 株主との建設的な対話の促進

の観点から、以下の3名を取締役候補者として提案する。

1. 三崎 優太氏
2. 能勢 元氏
3. 河本 和真氏

4　株主提案の内容

議題　取締役3名選任の件

【議案の要領及び提案の理由】

提案株主らは、以下の取締役候補者がそれぞれの経験、知見及び専門性を活かし、当社の企業価値向上及び株主共同の利益の確保に寄与するものと考えている。

なお、本提案は現経営陣との対立を目的とするものではなく、当社の成長戦略の実現可能性を高め、持続的な企業価値向上を図ることを目的とするものである。

各候補者の氏名、生年月日及び略歴等は、次のとおりである。なお、候補者番号2の能勢元氏及び候補者番号3の河本和真氏は、社外取締役候補者である。

取締役候補者

候補者番号1

氏名

三崎 優太

生年月日

1989年3月29日

略歴

2007年　株式会社メディアハーツ（現 ファビウス株式会社）設立

2024年5月　三崎未来ホールディングス株式会社設立、代表取締役就任（現任）

2025年4月　エス・サイエンス株式会社（現 エスクリプトエナジー株式会社）クリプトアセット事業開発担当室長就任

2026年1月　三崎未来ホールディングス株式会社が当社蓄電池事業の業務提携先として公表

重要な兼職先

三崎未来ホールディングス株式会社 代表取締役
当社株式保有数
０株
取締役候補者とする理由
三崎氏は、企業経営、事業開発、マーケティング及び新規事業推進に関する豊富な経験を有している。
また、当社事業との関与実績を有しており、当社の事業領域及び経営課題に対する理解を有している。
提案株主らは、同氏の経験及び知見が、当社の経営戦略の推進、新規事業の成長及び企業価値向上に寄与するものと考え、取締役候補者として提案する。
三崎氏が代表取締役を務める三崎未来ホールディングス株式会社が、当社と蓄電池事業の業務提携をしている。

候補者番号２（社外取締役候補者）
氏名
能勢 元
生年月日
1971年12月18日
略歴
1997年10月　監査法人伊東会計事務所（後に中央青山監査法人と合併）入所
2007年10月　能勢公認会計士事務所設立（現任）
2007年10月　東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社代表取締役就任（現任）
2010年４月　リーマン・ブラザーズ証券株式会社監査役就任
2013年９月　東陽監査法人代表社員就任
重要な兼職先
東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社 代表取締役
当社株式保有数
０株
社外取締役候補者とする理由
能勢氏は、公認会計士及び税理士として、企業会計、監査、税務及び財務に関する高度な専門知識と豊富な実務経験を有している。
また、企業価値評価、資本政策及びM&Aアドバイザリーに関する経験を有するとともに、上場企業における社外役員として企業統治及び監督機能に関する知見を有している。
提案株主らは、同氏の専門的知見が、当社における資本政策の検証、財務規律の強化、内部管理体制の充実及び経営監督機能の向上に寄与するものと考え、社外取締役候補者として提案する。

能勢氏は、当社との間に特別の利害関係はない。同氏は、社外取締役候補者であり、就任した場合、東京証券取引所に独立役員として届け出る予定である。

候補者番号3（社外取締役候補者）
氏名
河本 和真
生年月日：1989年2月26日
略歴
2014年4月　野村証券株式会社 入社
2019年5月　Growthix Capital株式会社 創業
2019年6月　Growthix Capital株式会社　取締役CFOに就任
2021年3月　一般社団法人ネクストプレナー協会　代表理事
2021年6月　Growthix Investment株式会社 代表取締役
2024年7月　Growthix Capital株式会社　代表取締役に就任（現任）
重要な兼職先
Growthix Capital株式会社
当社株式保有数
0株
社外取締役候補者とする理由
河本氏は、事業会社における管理業務及び事業推進に関する実務経験を有しており、経営管理及び財務管理に関する知見を備えている。
提案株主らは、同氏の実務経験が、当社の事業運営、管理体制の整備及び経営戦略の実行に寄与するものと考え、社外取締役候補者として提案する。
河本氏は、当社との間に特別の利害関係はない。同氏は、社外取締役候補者であり、就任した場合、東京証券取引所に独立役員として届け出る予定である。

不　一

（以上が臨時株主総会招集請求書（本文）です。
別紙部分は、本日付け臨時株主総会招集請求書（別紙）へ続きます。）

令和8年11月4日

〒104-0061
東京都中央区銀座8-9-13 K-18 ビル8階
エスクリプトエナジー株式会社
代表取締役　久　永　賢　剛　　殿

〒105-0001
東京都港区虎ノ門五丁目1番4号
東都ビル7階
新樹法律事務所
電話　03-5402-4343
FAX　03-5402-4342
請求株主　代理人
弁護士　渡　辺　　治

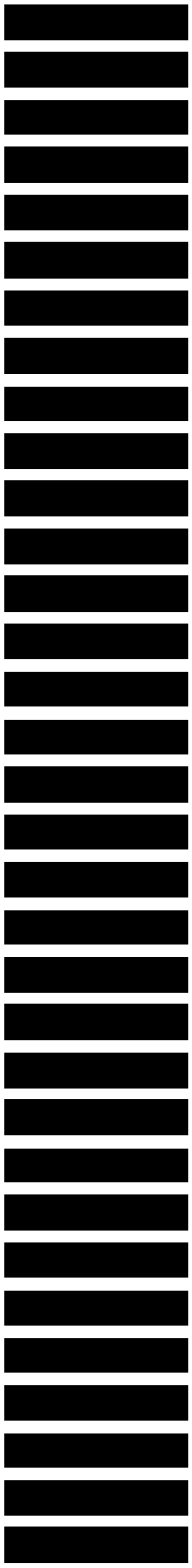
臨時株主総会招集書（別紙）

（本日付け臨時株主総会招集請求書（本文）の続きです。）

別　紙

請求株主一覧

[redacted]



[redacted]

以　上